

消化器内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 胆管空腸吻合部狭窄および膵管空腸吻合部狭窄に対するバルーン内視鏡治療後の長期臨床成績を検討する多施設共同後方視研究

[研究機関] 北海道大学病院 消化器科

[研究責任者] 栗谷 将城 （消化器内科・助教）

[研究の目的] バルーン内視鏡治療後の長期臨床成績を調査するため。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

胆管や膵臓の手術を受け、手術の際に吻合した部位に狭窄を来した患者さんで、平成21年9月1日から平成26年12月31日の間に狭窄に対してバルーン内視鏡を用いた治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、治療内容（precuttingの有無、使用処置具、ステント挿入の有無およびステント留置期間）、偶発症、狭窄の再燃の有無、胆管結石の合併の有無

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院消化器内科 担当医師 栗谷 将城

電話 011-717-1161 FAX 011-706-7867